

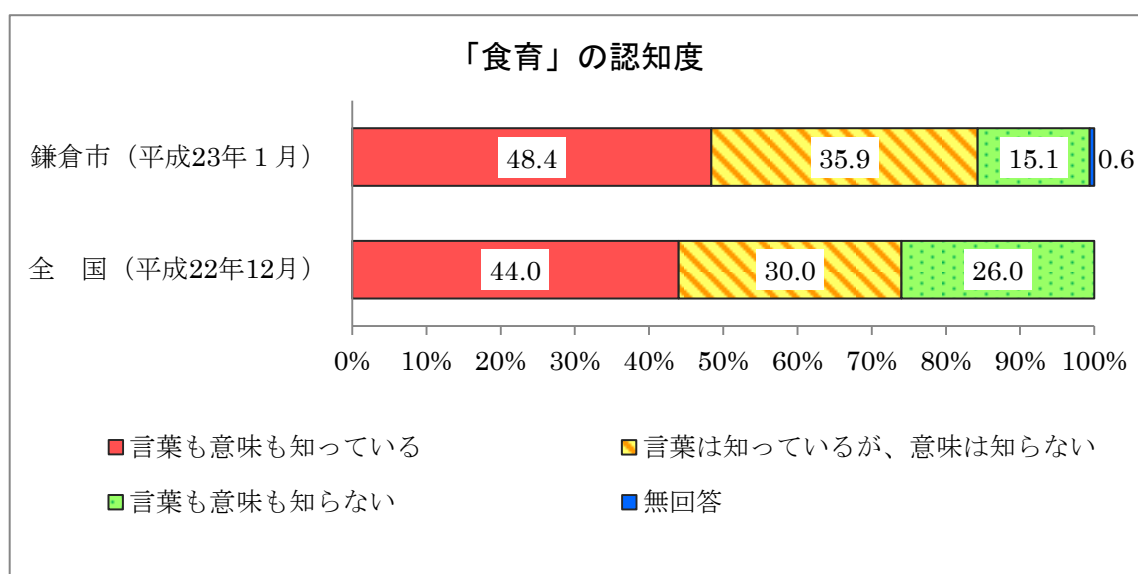
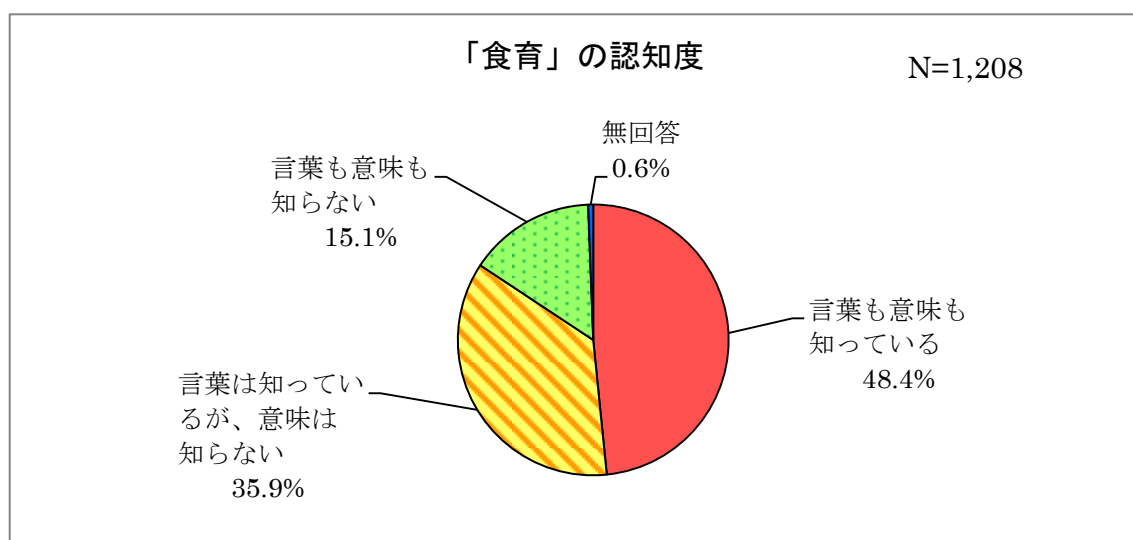
第2章 鎌倉市の食の現状と課題

1 現状

「食と健康に関するアンケート調査」(平成23年1月実施) からみえる食の現状

① 「食育」の認知度

「食育」という言葉を知っている人(「言葉も意味も知っている」と「言葉は知っているが、意味は知らない」)の割合は84.3%で、全国(74.0%)と比較して高い傾向にあります。

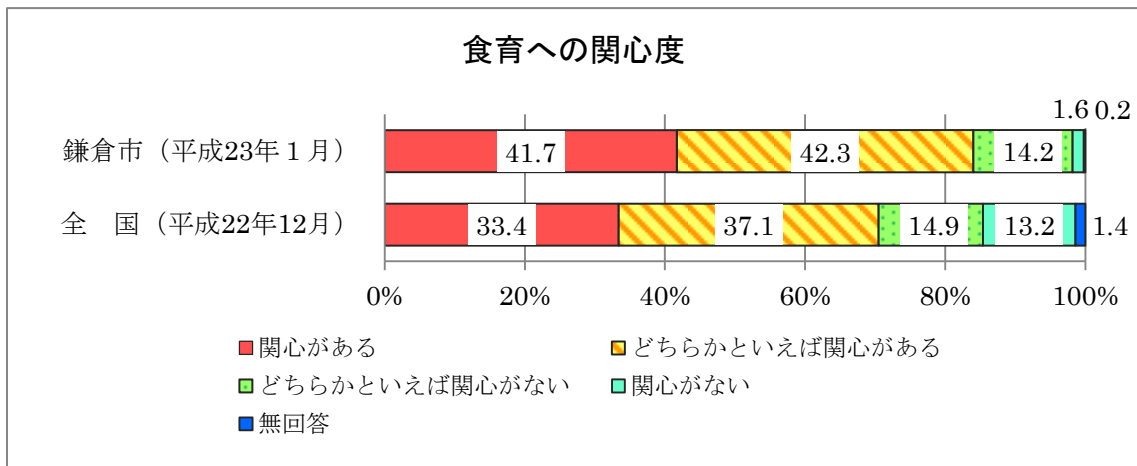
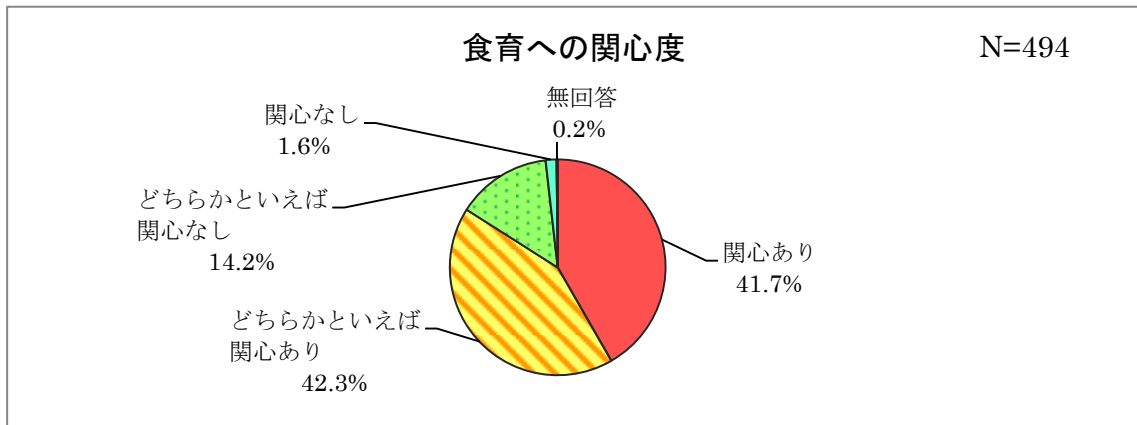


※全国 (平成22年12月) : 内閣府 食育の現状と意識に関する調査より (N=1,853)

② 「食育」への関心度

「食育」に関心がある人（「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」）の割合は84.0%で、全国（70.5%）と比較して高い傾向にあります。

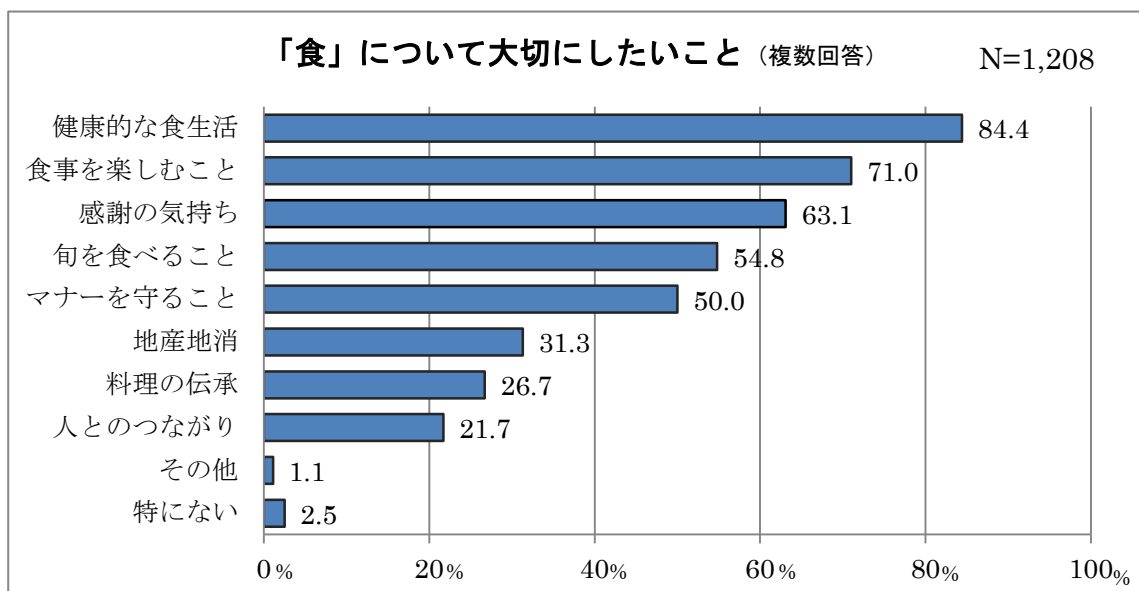
（保育園・幼稚園年長組（5歳～6歳）の保護者と20歳～70歳代への設問）



※全国（平成22年12月）：内閣府 食育の現状と意識に関する調査より（N=1,853）

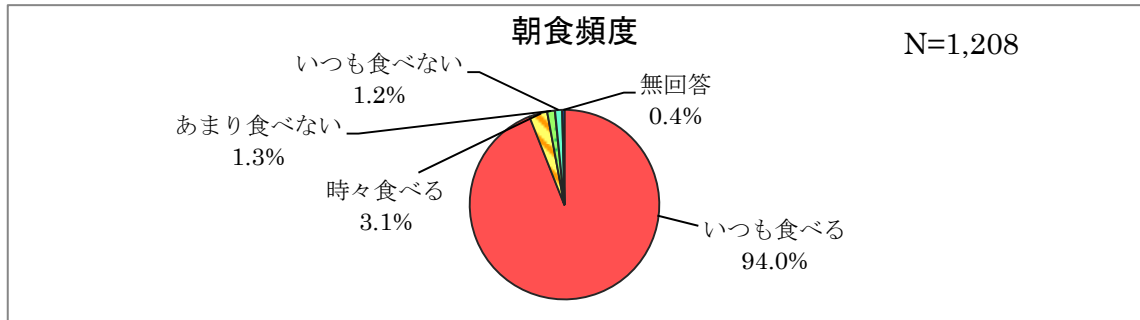
③ 「食」について大切にしたいこと

「食」について大切にしたいことは、「健康的な食生活」、「食事を楽しむこと」、「感謝の気持ち」の順となっています。

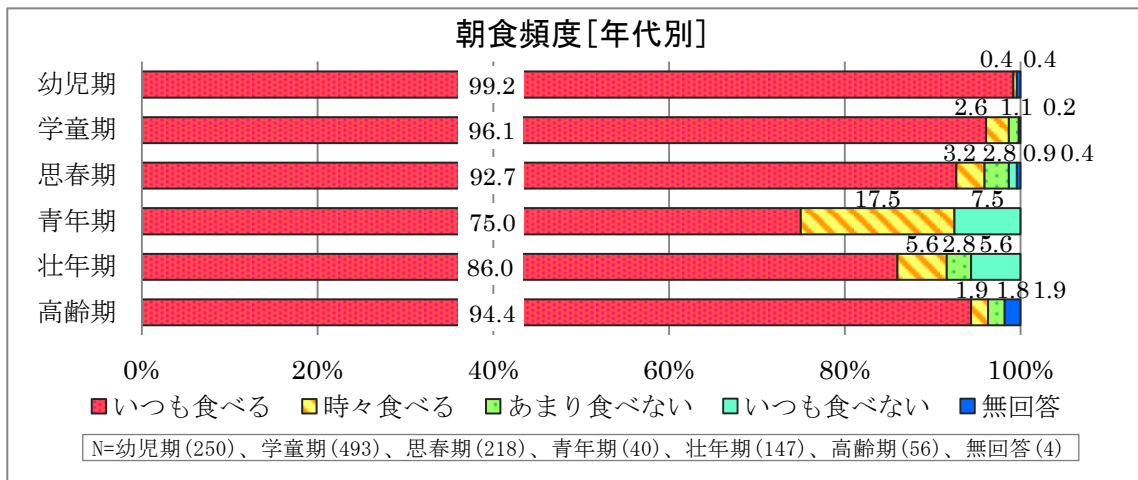


④ 朝食頻度

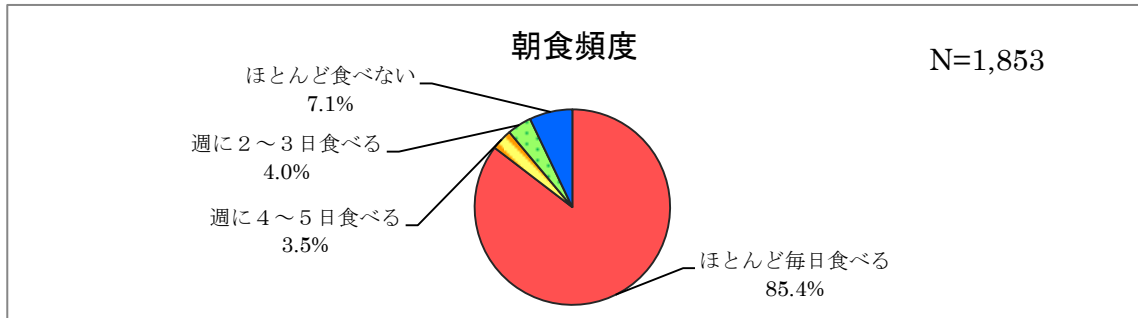
朝ごはんをいつも食べている人の割合は 94.0%です。世代別にみると、青年期が 75.0%、壮年期が 86.0%と、他の年代に比べて低い結果となっています。



<年代別>



<参考：全国>

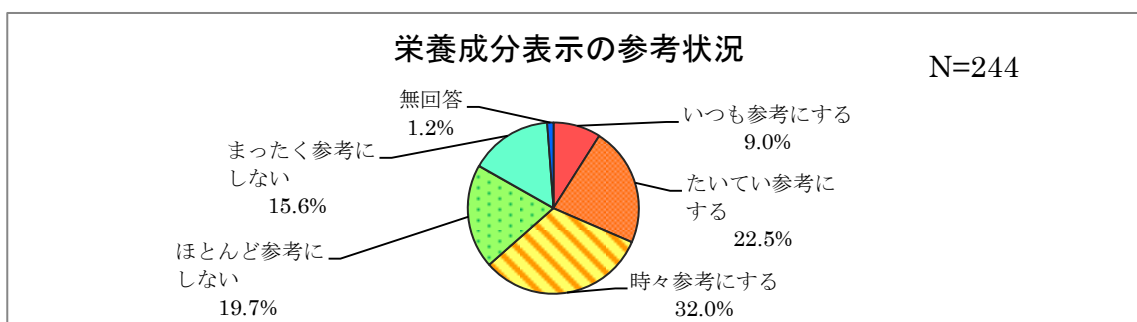


出典：(平成 22 年 12 月) 内閣府 食育の現状と意識に関する調査

⑤ 栄養成分表示の参考状況

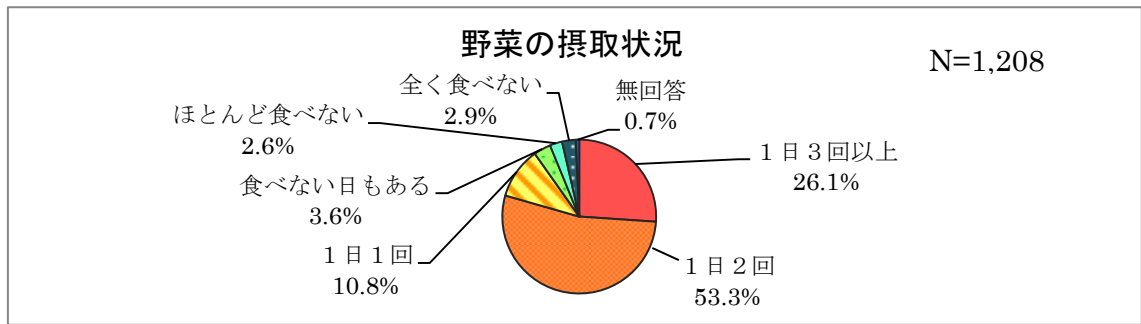
外食でメニューを選ぶ際などに、栄養成分表示を参考にしている人(「いつも参考にする」と「たいてい参考にする」)の割合は、31.5%です。

(20歳~70歳代への設問)



⑥ 野菜の摂取状況

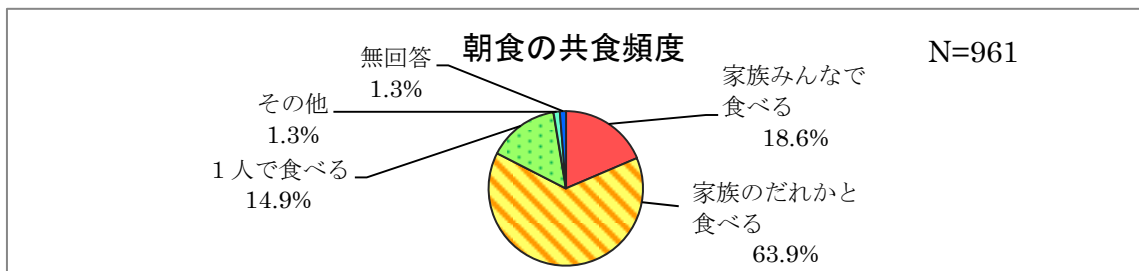
1日3回以上野菜を食べている人の割合は、26.1%です。



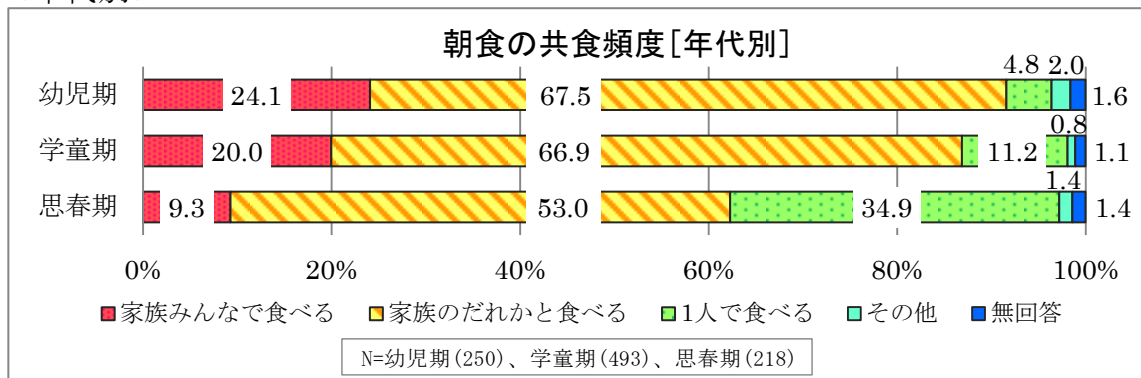
⑦ 朝食の共食頻度

朝ごはんをだれかと一緒に食べる子（「家族みんなで食べる」と「家族のだれかと食べる」）の割合は82.5%です。年代別にみると、思春期が62.3%で、他の世代に比べて低い結果となっています。

（保育園・幼稚園年長組（5歳～6歳）の保護者と小学校3・6年生と中学2・3年生への設問）



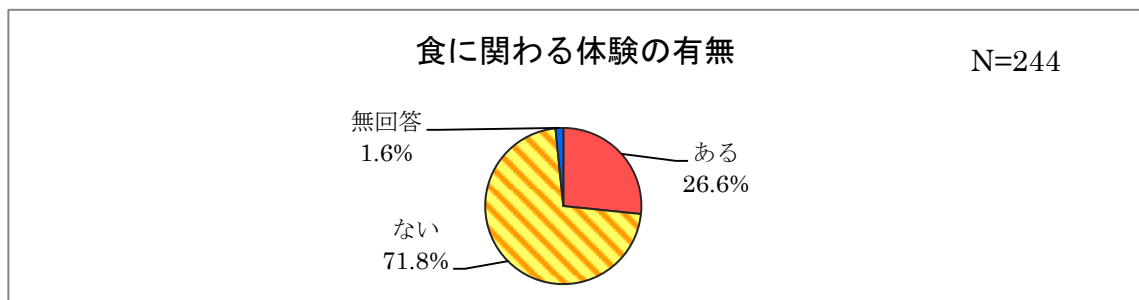
<年代別>



⑧ 食に関わる体験の有無

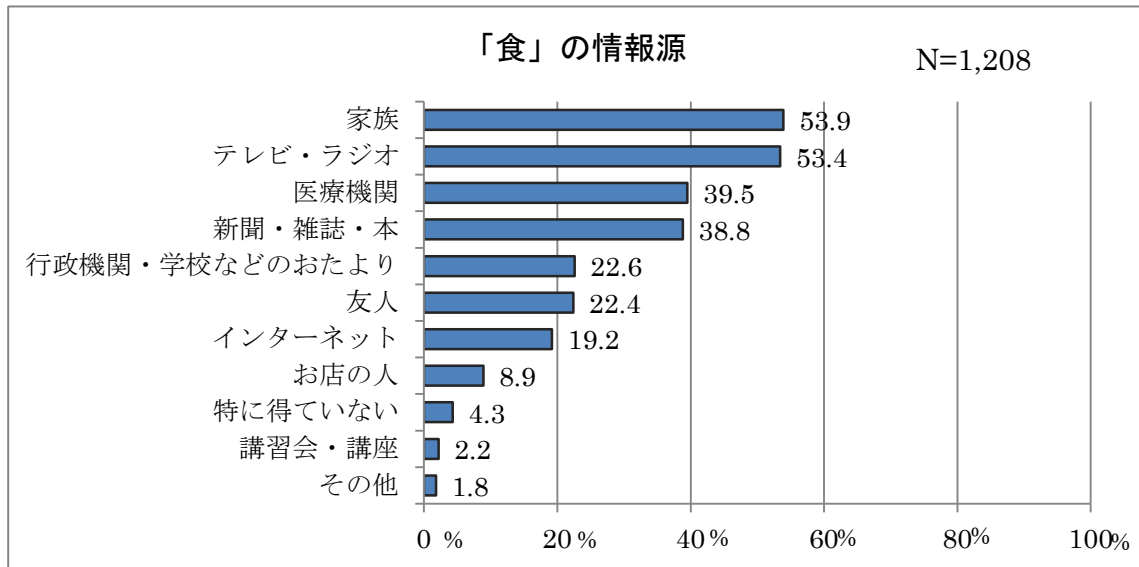
自宅や市民農園等で野菜などを育てている人の割合は、26.6%です。

（20歳～70歳代への設問）



⑨ 「食」の情報源

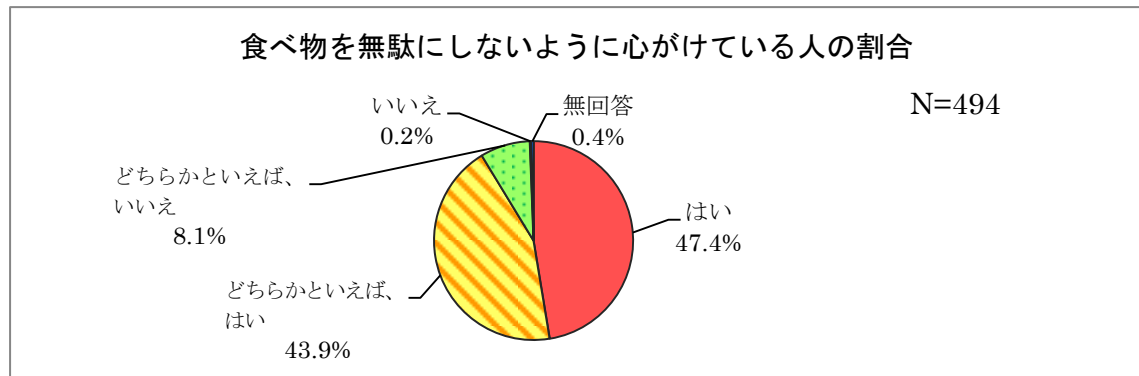
「食」についての情報源は、「家族」「テレビ・ラジオ」「医療機関」の順となっています。



⑩ 食べ物を無駄にしないように心がけている人の割合

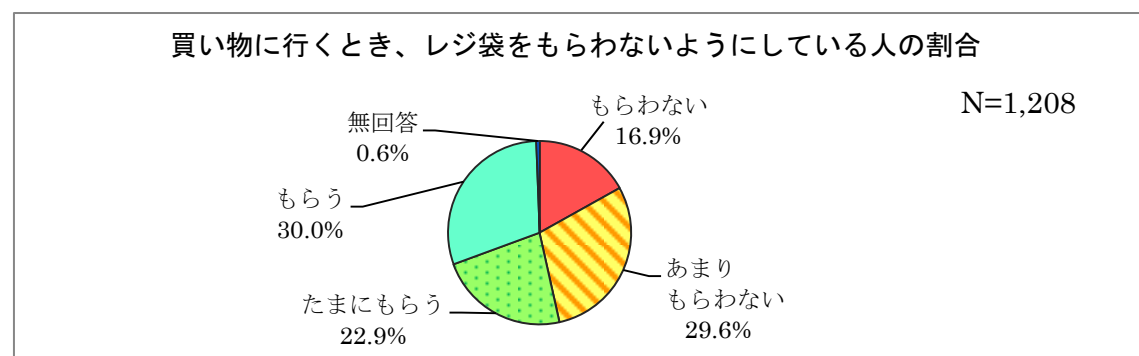
食べ物を無駄にしないように心がけている人(「はい」と「どちらかといえば、はい」)の割合は、全体で91.3%です。

(保育園・幼稚園年長組(5歳~6歳)の保護者と20歳~70歳代への設問)



⑪ ゴミ削減への意識

買い物に行くとき、レジ袋をもらわないようにしている人(「もらわない」と「あまりもらわない」)の割合は、46.5%です。

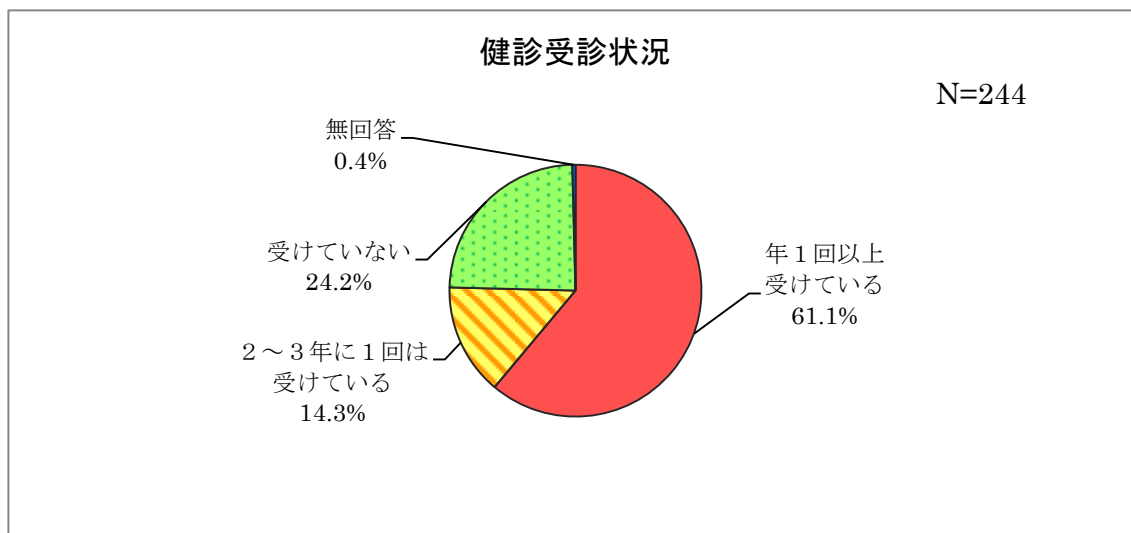


★ 健康への意識について

① 健診を受けているか

職場や市の健診を「年1回以上受けている」人の割合は、6割以上です。

(20歳～70歳代への設問)

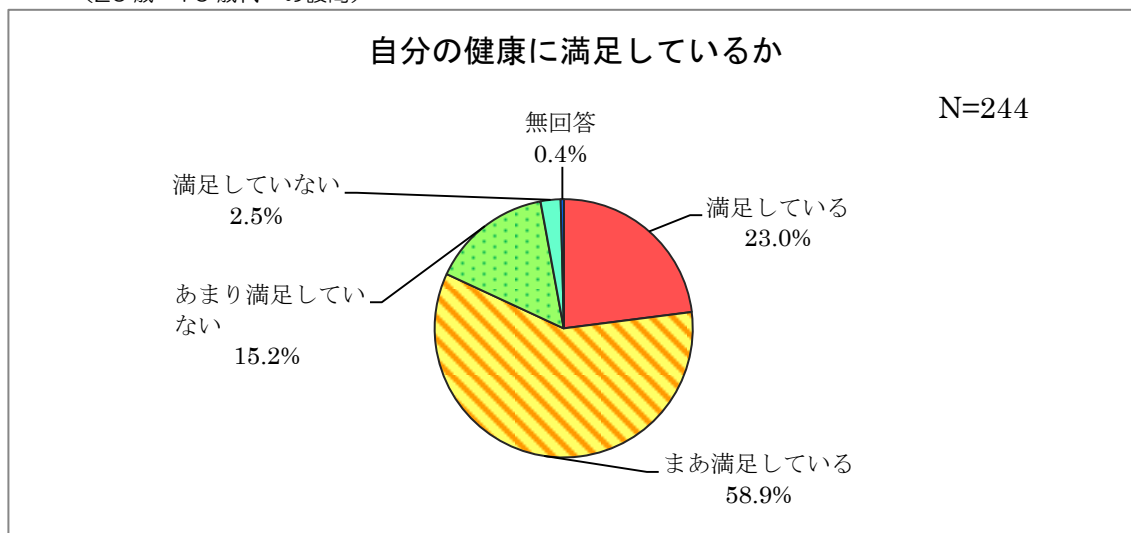


出典：「食と健康に関するアンケート調査」(平成23年1月実施)

② 自分の健康状態に満足しているか

「満足している」「まあ満足している」人の割合は、8割以上です。

(20歳～70歳代への設問)



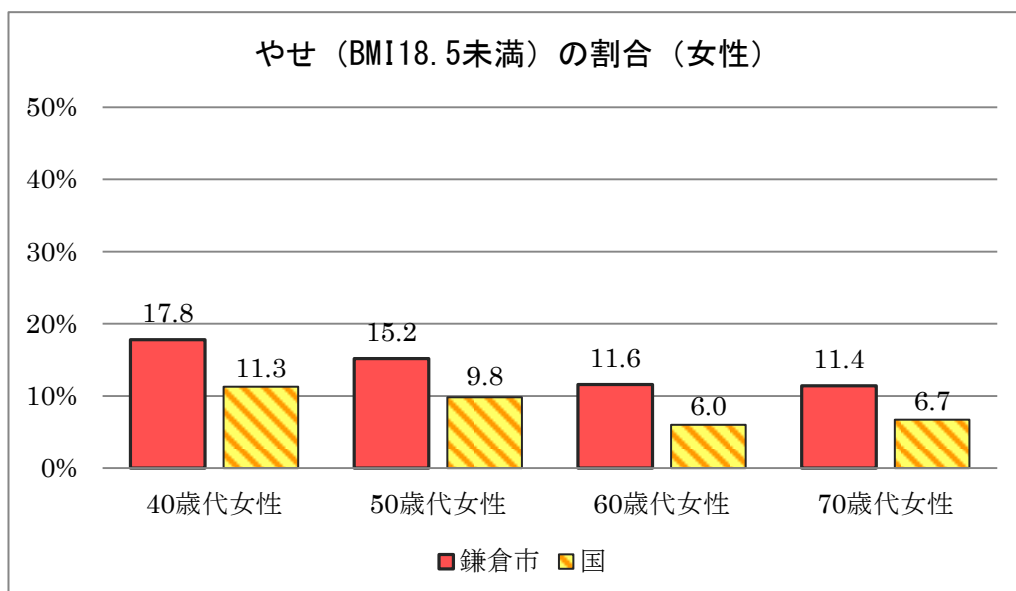
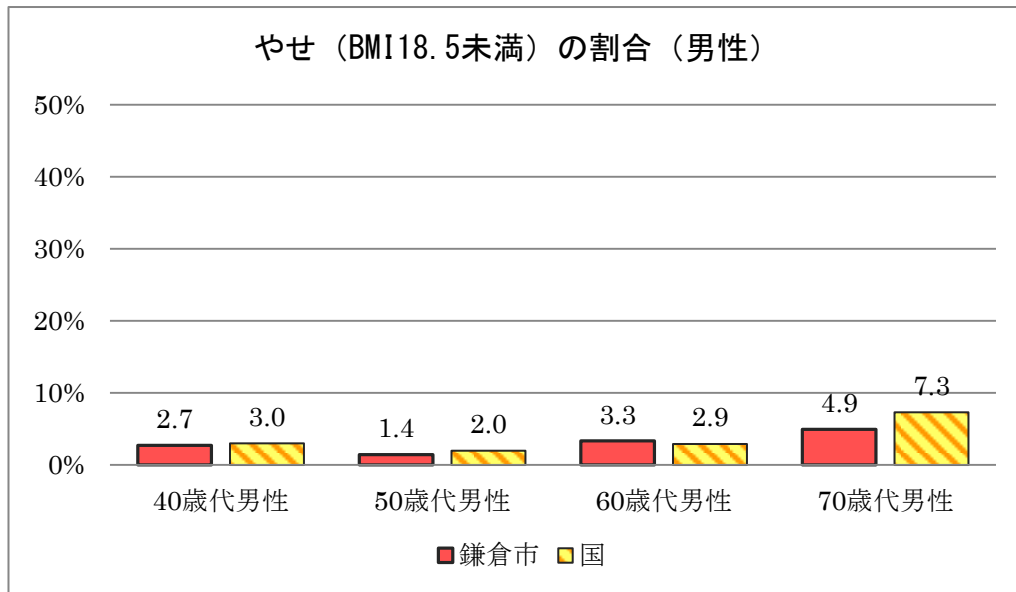
出典：「食と健康に関するアンケート調査」(平成23年1月実施)

★健康診査結果からみた体型

鎌倉市で実施した「平成 22 年度の国保特定健診及びキット健診」と厚生労働省が実施した「平成 22 年国民健康・栄養調査」の結果から、体型を比較しています。

① やせの割合（男・女）

「やせ（BMI が 18.5 未満）」の割合は、男性は市も国も 3% 前後です。女性は市の方がやせの比率が高く、全国の 1.5 倍になっています。

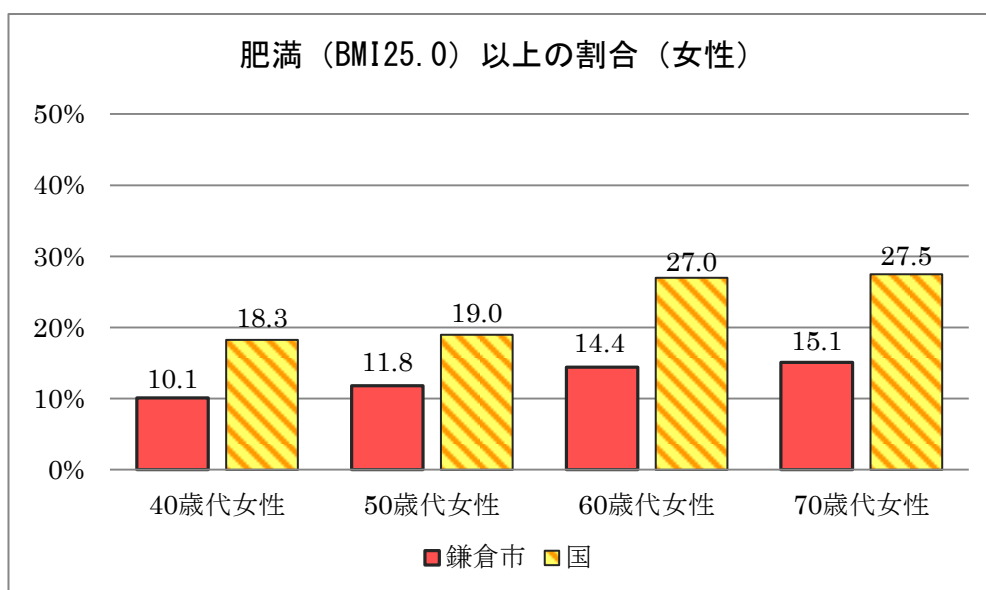
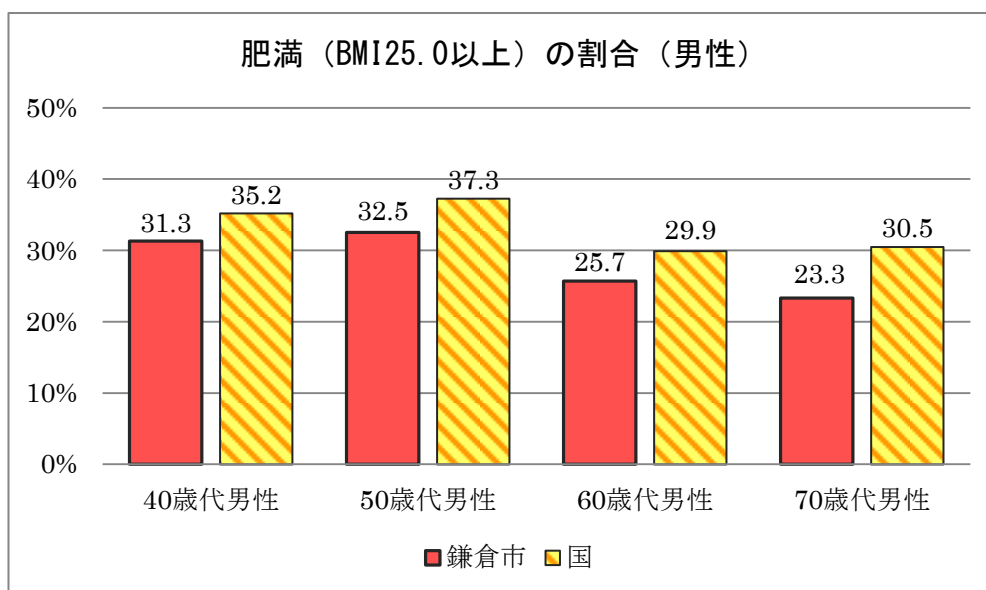


出典：平成 22 年度国保特定健診結果（鎌倉市）

平成 22 年国民健康・栄養調査（全国）

② 肥満の割合（男・女）

「肥満（BMIが25.0以上）」については、40歳代・50歳代の男性の3人に1人は「肥満」です。男性女性ともに、全年代で全国より割合が低い状況です。



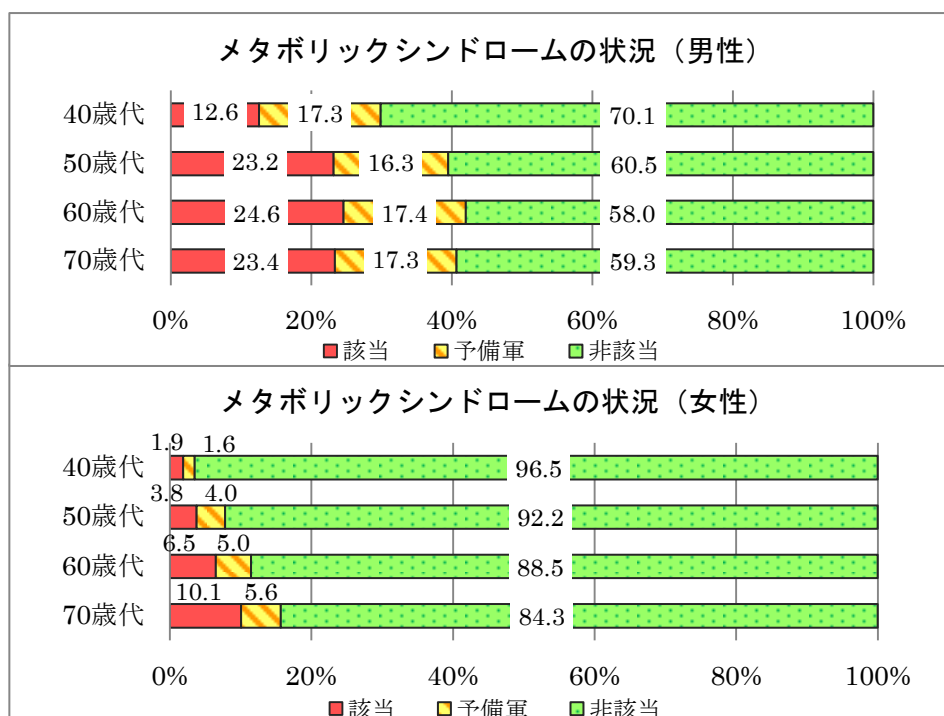
出典：平成22年度国保特定健診結果（鎌倉市）

平成22年国民健康・栄養調査（全国）

※男性は、全国と比べると、やせも肥満も少ない状況です。女性は、全国と比べると、やせは多く肥満は少ない状況です。ただし、男性は3割前後の方が肥満の状況で、女性は1割（40歳代は2割弱）の方がやせの状況です。

③ メタボリックシンドローム該当者・予備軍の状況

男性では3割以上、女性では1割前後の方が、メタボリックシンドローム該当者または予備軍に該当しています。

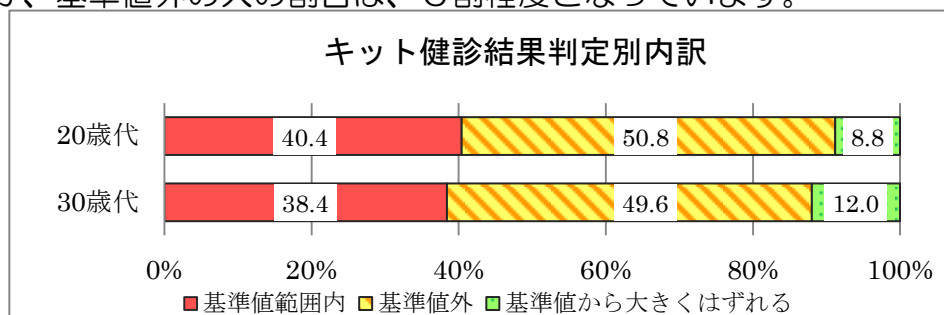


出典：平成 22 年度国保特定健診結果（鎌倉市）

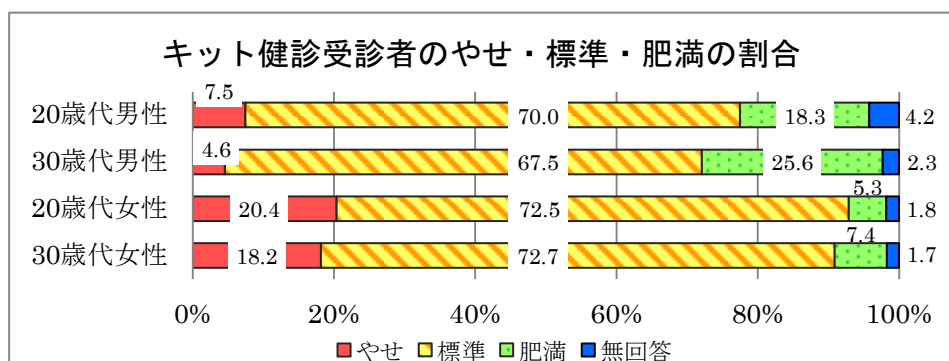
④ キット健診結果の内訳

鎌倉市では、20歳からの成人健診事業の一つとして、20歳以上40歳未満の方を対象としたキット健診を実施しています。

平成22年度キット健診の検査項目（身長・体重・腹囲、血圧、血液検査）が、基準値外の方の割合は、6割程度となっています。



キット健診受診者のうち、男性では肥満の割合が2割前後、女性ではやせの割合が2割前後となっています。

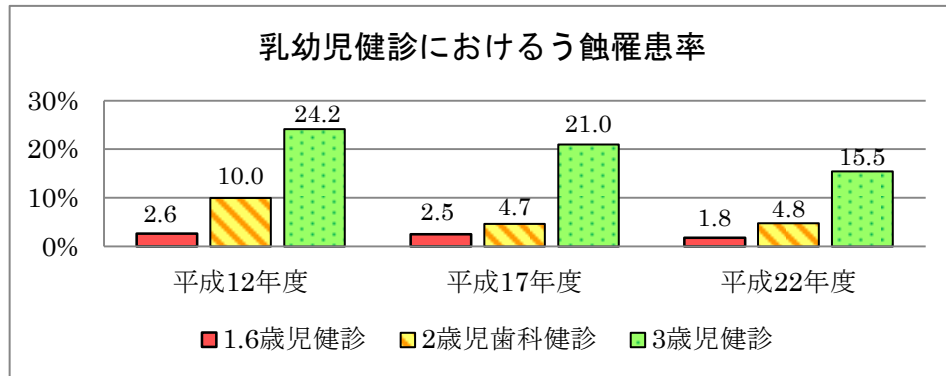


※やせ・標準・肥満の割合は、キット健診受診時に、本人が申告した身長・体重の値から算出しています。

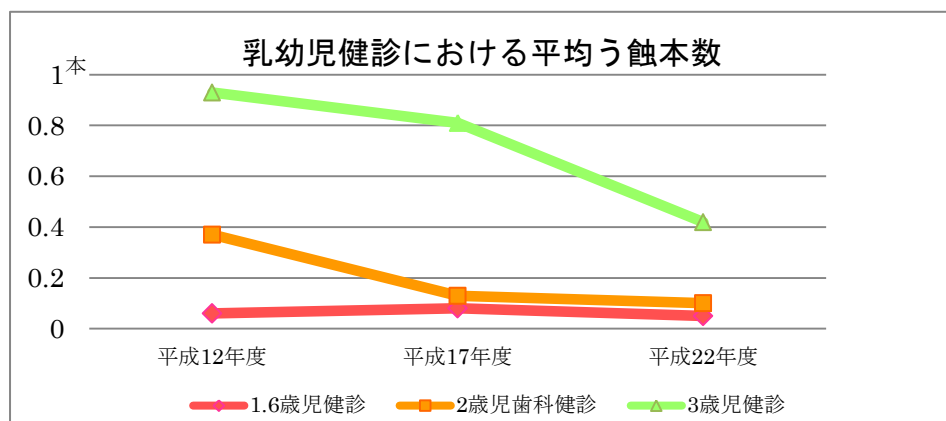
★ 歯の健康

① 乳幼児健康診査におけるう蝕の状況について

う蝕罹患率（むし歯にかかっている子どもの割合）及び1人あたりの平均う蝕（虫歯）本数は、平成17年度に比べて減少しています。



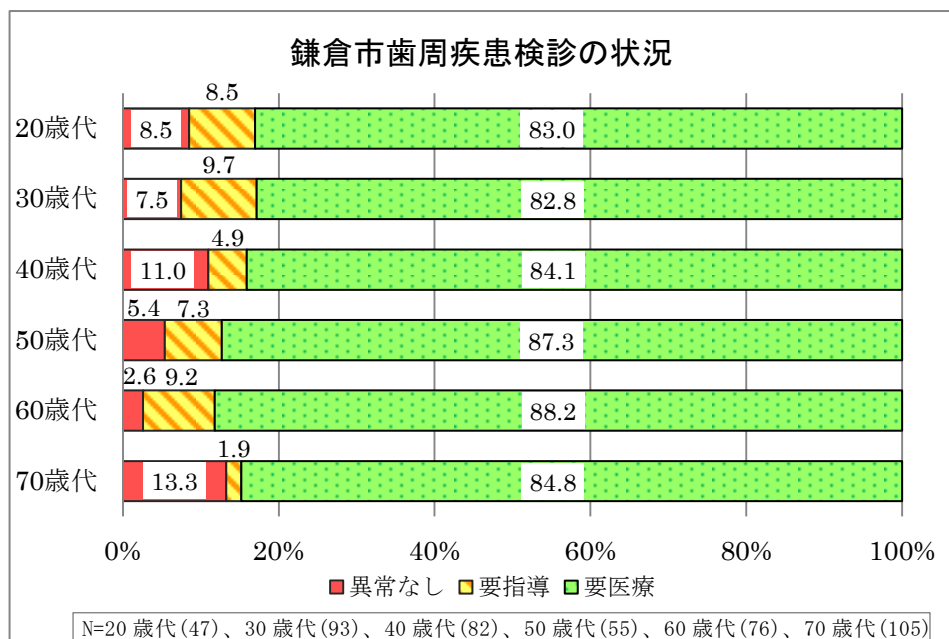
出典：市町村母子保健報告（平成12・17・22年度）



出典：市町村母子保健報告（平成12・17・22年度）

② 鎌倉市歯周疾患検診の状況

平成22年に実施した歯周疾患検診の結果から、どの年代も8割以上の方が、要医療の判定を受けています。



出典：歯周疾患検診結果集計（平成22年）

2 現状と課題のまとめ

食と健康に関するアンケート調査の結果からは、孤食や欠食の状況は改善傾向にあることがわかります。しかし、20歳代・30歳代男性の朝食欠食率は高く、改善に向けての取り組みや支援が必要と考えられます。また、食についての情報は、様々な媒体から発信されているため、1人ひとりが正確な情報を選択する力が求められています。

次に、健康診査結果からは、男性は3割前後の人が肥満の状況で、女性は1割(40歳代は2割弱)の人がやせの状況であることがわかります。カロリー摂取や栄養バランスについて実生活に即した取り組みなど、標準体型をめざすための支援が必要と考えられます。

